



様々な産業の自動化・省力化を通じて  
サステナブルな未来を切り開きます

## SMC株式会社 太田営業所

太田市



代表者：高田芳樹 住所：太田市下田島町 1052-1  
 設立年月日：1959年4月27日 TEL：050-3538-6349  
 資本金：610億円 Mail：smc-oota@smcjpn.co.jp  
 従業員数：20,619人（連結） URL：https://www.smcworld.com



WEB サイト

### ● 事業者紹介

圧縮空気を動力源に自動化を行う、空気圧制御機器のメーカーです。急速に変化する激動の時代である今、グローバルネットワークで、より緊密なコミュニケーション、高度な技術サービス、製品の安定供給を行い、お客様の未来の視線とお困りごとを把握することで、お客様の要望や期待に応えます。お客様一人ひとりの声に耳を傾け、迅速かつ的確に対応することが大切だと考えます。

### ● 経緯・背景

IT化、ロボット化、AIの活用が進み、グローバル化も相まった激動の時代に対して、環境に配慮した製品を供給し、産業の「自動化・省力化」を推進することで、社会全体の「持続可能な成長と技術革新」に貢献しています。そのうえで、経営理念を礎に、事業活動と社会課題の解決をより強く結びつける、4つの重要課題を特定しました。その中の一つである TARGET 01「持続可能な気候変動防止対策」に基づき、製品の小型・軽量化の提案や、省エネ活動を通じたCO2削減の普及活動を行っています。

### ● 具体的な取組や成果

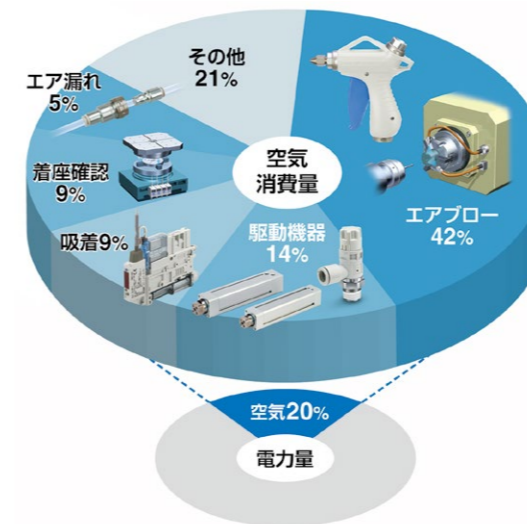
#### あらゆる産業機器の自動化に欠かせない主力製品「空気圧機器」の小型・軽量化や省エアシステムの提案で、CO2 排出量削減に貢献

まずは現状把握から・・・省エネ化への第一歩  
知識の向上

ご存じですか？ 工場の電力量の約20%は、エア機器で消費されています。主にエアブローによる空気消費量が全体の40%強を占めており、駆動機器（14%）吸着（9%）と続きます。適正な配管システムのサイジングによる効率のよいエアブロー、機器の最適化によって、省エア化を実現できます。

SMCの主力製品である「空気圧機器」は、ロボットをはじめ、工場の生産ラインにおける加工・組付けなどのファクトリーオートメーションや、医療機器、半導体製造装置における自動検査装置など、あらゆる産業機器の自動化に欠かせない機械要素部品です。これらの製品の小型・軽量化や省エアシステムを提案することで、お客様の省エネ活動をお手伝いしています。

また省エネ活動を通して、CO2削減の普及活動も行っています。



工場の消費電力量の割合

#### 省エネ施策を行った会社の成功事例

**A社実績**  
 電力 3000kW → 1400kW  
 CO2排出量 1900t/年の削減  
 コスト 4800万円/年の削減

**B社実績**  
 電力 10000kW → 7000kW  
 CO2排出量 3500t/年の削減  
 コスト 9000万円/年の削減

※A・B社共、コンプレッサ作動時間2000h/年、電力-CO2排出量換算係数0.587kg-CO2/kWh、電力料金15円/kWhで算出  
 ※当社調べ

#### 当社にとってのSDGsビジョン

#### 自動化・省力化を通して 持続可能な成長と技術を革新

様々な産業の「自動化・省力化」を通じて、サステナブルな未来を切り拓きます。私たちの理念とSDGsを重ね、「持続可能な成長と技術革新」へと挑みます。

#### 今後の展望と求めるパートナー像

#### CO2の削減に取り組む 県内工場に省エネを提案

群馬県内に立地する、空気圧機器を使用した自動機を導入している生産工場で、CO2の削減に取り組んでいる企業に省エネの提案を行っていきます。

- 1) 工場内ウォークスルーの実施による現状把握
- 2) 改善を含めた省エネ提案の実施とCO2削減への貢献





自動車リサイクル士がつくる、外はシートベルト  
中はエアバッグの環境にやさしい最強バッグ

## 車の解体工場 株式会社ギヤ (GEAR)

藤岡市

代表者：上村正則  
設立年月日：2016年4月8日  
資本金：300万円  
従業員数：2人

住所：藤岡市中島493-5  
TEL：090-8856-7376  
Mail：gear\_kamimura@ybb.ne.jp  
URL：https://gear-g.jp



WEBサイト

### ● 事業者紹介

社名の“ギヤ”は「資源の歯車」という意味です。自動車の解体では自動車リサイクル法を順守した、再資源や再部品のリサイクルが当たり前の時代となりました。環境保護や資源リサイクルの観点から、当社は廃棄するのではなく、再利用して新たな価値を生み出し、リサイクルとアップサイクルによる自動車の解体を実践しています。



### ● 経緯・背景

自動車の保有台数が全国でも上位の群馬県は、解体される車の台数も全国上位です。自動車解体では、まだまだ利用価値のある材料がたくさんあり、シートベルトやエアバッグを再利用した商品など、様々な角度から新しいアイデアを形にしています。新しいアイテムを生み出すことが、環境問題の解決に繋がると考えています。



### ● 具体的な取組や成果

#### 1%の産業廃棄物を限りなく0%に近づけるため 廃車から新たな価値を生み出し、商品開発・製造・販売を行います

自動車の解体リサイクル率は、資源再利用55%、再部品リユース28%、熱源の再利用16%、シュレッダーダスト（ごみ）1%で、産業廃棄物として埋め立てられます。この「シュレッダーダスト（ごみ）の埋め立て1%」を、いかに「0%」に近づけられるかを考えたとき、新しい価値感を生み出すためにリメイクしたアイテムを販売しようと、エコでリメイクな販売店「エコリメ」の立ち上げを思い立ちました。

飽きのこないシンプルなデザインと、普段使いでもアウトドアでも使えるタフな機能を備えたトートバッグの制作は、素材選びから縫製まで、一つひとつ手作業で仕上げた一点

もので、細部にまでこだわり抜いた、おすすめのアイテムです。中でも、車内で物入れとしても使用できる、エコなポケット「エコポケ」は、令和3年度のグッドデザインぐんまで「審査員特別賞」を受賞。デザインや縫製の技術を一から学び、試行錯誤の末にやっとできた、アップサイクルな商品として、新しい価値を生み出しました。

シートベルトとエアバッグで製作したECサイト  
▶ギヤ公式ウェブサイト：<https://gear-g.jp/>



再利用、洗浄、縫製すべてがエコで、新たな価値としてリメイクされた商品が並ぶ「エコリメ」の実店舗



オリジナル商品「エコポケ」が、令和3年度の「グッドデザインぐんま」で審査員特別賞を受賞

#### 当社にとってのSDGsビジョン

##### 産業廃棄物の削減を目指し 魅力的なアイテムを作り出す

今後は自動車に限らず、ほかの廃材からも新たな価値を生み出し、アイデアを形にしていきます。また、SDGsに積極的な業界、業種であることから、企業や個人の枠を取り払った取組にもチャレンジし、販路開拓と弊社の認知向上を目指します。そのために、SDGsの教育の一つとして、夏休みに「SDGs子供ワークショップ」を開催します。

#### 今後の展望と求めるパートナー像

##### 廃材利用のワークショップで 実践的に環境問題に取り組む

廃材を利用した「SDGs子供ワークショップ」を開催し、楽しみながら地球環境や社会環境を考え、体験した子供たちの将来に役立つ経験を創るSDGs教育に力を入れています。こうしたイベントに賛同いただける、同業種の自動車メーカーや各販売店、学校関係と協働していきたいです。





## 株式会社群馬銀行

前橋市

代表者：深井彰彦  
 設立年月日：1932年9月1日  
 資本金：486億円  
 従業員数：3,006人

住所：前橋市元総社町194  
 URL: <https://www.gunmabank.co.jp>



WEBサイト

### ● 事業者紹介

1932年の設立以来、様々な社会・経済の変遷の中で、地域のリーディングバンクとして地域社会の発展を常に考え、行動するとともに、経営基盤の強化に努めてきました。現在、2019年4月から2022年3月までを計画期間とする「2019年中期経営計画『Innovation 新次元』～価値実現へ向けて～」に取り組んでおり、この中期経営計画では、これまで培ってきた「価値提案力」を礎として、提供するサービスの革新により、「価値を実現する金融グループ」への発展を目指しています。



### ● 経緯・背景

地方創生に関わる部署である、地域創生室をコンサルティング営業部に設置し、群馬県内の各自治体と連携を図り、地方創生に取り組んでいます。当行が地域課題を抱えるみなかみ町と、地方創生に熱心に取り組むオープンハウスを引き合わせたことで、「みなかみ町の地域活性化に関する包括連携協定」を締結。東京大学も参画し「産学官金連携によるみなかみ町の活性化プロジェクト」が始動しました。この連携協定は、中山間地域における地域社会の発展と地域経済の活性化、町民サービスの向上に資することを目的としています。

### ● 具体的な取組や成果

#### 地域課題を抱える県内の自治体と、地方創生に熱心な企業を繋ぎ サステナブルな社会の実現と地域経済の発展・活性化を目指します

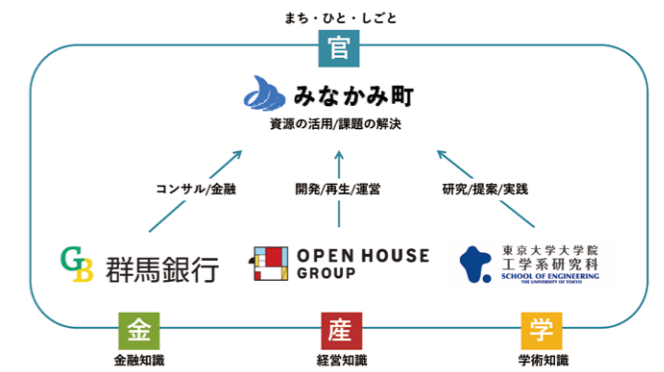
2021年9月22日、当行と、みなかみ町、(株)オープンハウス、東京大学の産学官金4機関による「みなかみ町の地域活性化に関する包括連携協定」を締結しました。地域課題を抱えるみなかみ町と、地方創生に意欲的な企業とのマッチングを行い、賑わい施設等の建設によって、水上温泉の再生と地域経済のさらなる発展・活性化を目指します。

#### ● 連携協定内容

- ・魅力ある観光地づくり、および誘致に関すること
- ・サステナブルな街づくりの推進に関すること
- ・定住・移住に関すること
- ・観光振興や産業振興など、地域経済の発展に関すること
- ・環境保全に関すること
- ・その他、住民サービスの向上に関すること
- ・公共施設の有効利用に資する情報交換に関すること



2021年9月22日「産学官金包括連携協定」の締結



地域課題解決のための「みなかみ町の地域活性化に関する包括連携協定」の取組

#### 当社にとってのSDGsビジョン

#### SDGsの考えをもとに策定した 群馬銀行グループSDGs宣言

事業内容や営業エリアから特に貢献可能な7つの目標を中心に4つの重点課題を定め、事業活動を通じた社会・環境課題等への取組を進めています。策定した中期経営計画における各施策に取り組むとともに、課題解決に向けた新たな取組を進めることで、持続可能な社会の実現と経済的価値の創造に貢献していきます。

#### 今後の展望と求めるパートナー像

#### 「つなぐ」力で課題を解決 地域の活性化に貢献

2021年11月20日にパーパス『私たちは「つなぐ」力で地域の未来をつむぎます』を制定。そのパーパスを通じて、お客様や地域社会から共感を得られる企業活動を行います。また県内の各温泉街では共通の課題を抱えており、今後、みなかみ町の事例をほかの県内観光地等へ横展開していくことで、地域の活性化を目指します。





課題の多い物流業界で、持続可能な未来に向け  
誰もが活躍できる社会の実現を目指します

## 群馬小型運送株式会社

高崎市



代表者：川手和義  
設立年月日：1953年9月17日  
資本金：1,635万円  
従業員数：105人

住所：高崎市中大類町118-3  
TEL：027-350-7020  
Mail：info-gyoumu@gku.group  
URL：http://www.gku.group/gunma-kogata



WEBサイト

### ● 事業者紹介

私たちはGKUグループの中核企業として、トラック輸送を主軸事業に総合物流業を行っています。強固な物流ネットワーク、多様な車両と温度帯管理のできる倉庫を保有し、お客様の物流コストの削減や物質品質向上の実現に向け、最適な物流スタイルを提案します。



### ● 経緯・背景

長時間労働による重大事故や慢性的な人材不足が課題の物流業界にあって、持続可能な未来の構築に向け、一企業として何が出来るかを日々考えています。「産業の血液」と称され経済を支えるインフラ産業として、地球温暖化などの環境問題に憂慮した活動を推進するだけでなく、そこで働く従業員が健やかに、そして幸せに働けることができるよう、職場環境の改善を図り、誰もが活躍できる社会の実現を目指します。

### ● 具体的な取組や成果

## 働く人の心と体を守り、快適に過ごせるよう、積極的な健康経営を推進 労働環境の改善で性差なく能力を発揮できるように、女性の活躍を応援します

#### ● 健康経営の推進

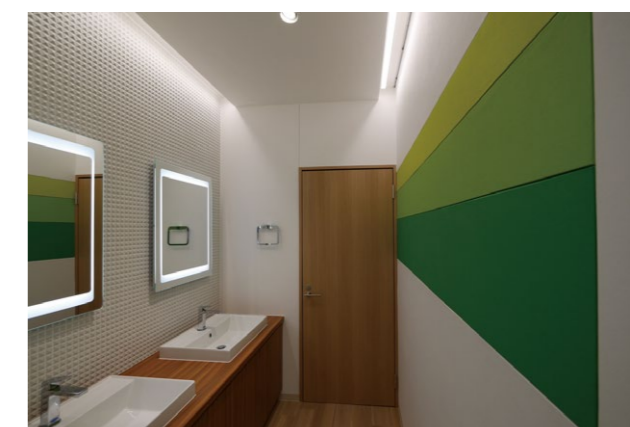
従業員みんなが心身共に健やかに保てるよう、労働環境の改善や積極的な健康経営を推進しています。予防接種の費用負担による感染症対策への取組や、「プチ社食」の導入による食事の見直しなどに加え、2021年には「禁煙サポートプログラム」を策定し、喫煙者の減少に向けて活動を始めました。プログラム参加者の意思や状況に合わせて取り組めるよう、3つのコースを用意し禁煙を促進。これまでに卒煙に成功した従業員がいるほか、禁煙サポートプログラムのスタートと同時に、構内および車内の全面禁煙を実施することで、受動喫煙環境の改善にも成功しました。



「禁煙サポートプログラム」は、参加者の意思や状況に合わせて取り組めるよう3つのコースを用意

#### ● 女性が働きやすい職場提案

男性従業員が圧倒的多数を占める物流業界にあって、そこで働く女性従業員が快適に過ごせるよう、女性専用のパウダールームの設置や女性専用の営業車両の導入を進めています。女性従業員一人ひとりの声を反映し、女性も希望に応じて持てる能力を発揮できるように、その活躍を応援し、従業員みんなが会社や仕事に満足感を持てる会社づくりを行っています。



本社事務所2階をリフォームし、女性が快適に使用できるパウダールームを設置

#### 当社にとってのSDGsビジョン

### 課題が多い業界だからこそ 持続可能な未来に向けて挑戦

物流は社会インフラである一方で、重大事故の多発やCO2の排出、長時間労働や慢性的な人材不足など、持続可能な未来に向けて課題が多く残る業界です。だからこそ私たちは、常に自分たちにできることを考え、新たな取組にチャレンジし、いつの時代も社会に必要とされる企業でありたいと考えています。

#### 今後の展望と求めるパートナー像

### 様々な問題点の改善に 広く協力が必要な物流業界

あらゆる局面で動き続ける物流業界にとって、環境への配慮はもちろん、長時間労働や人材不足の改善に向けて、関わるすべての人々との協力は必要不可欠です。「共同配送」による環境負荷の低減や物流の効率化、「ホワイト物流の推進」による労働環境の整備など、今後も多くの人や企業と協力し、改善していきます。





人材の能力を最大限に生かす会社作りを推進  
従業員の働きやすさが、業務拡大のカギ

## 有限会社COCO-LO

桐生市

代表者：雅楽川陽子 住所：桐生市相生町 2-261-3  
設立年月日：2005年5月9日 TEL：0277-55-5422  
資本金：300万円 Mail：info@coco-lo.net  
従業員数：99人 URL：http://coco-lo.net



WEB サイト

### ● 事業者紹介

訪問看護ステーション2事業所、通所介護5事業所、居宅介護支援事業所1事業所、介護予防フィットネス事業を運営。「COCO-LO」は、心と心を繋ぐという思いから名付けました。利用者、家族、ココロで働くメンバー、関わるすべての人、一人ひとりの心を大切に、自分らしく輝ける場所であることを理念としています。



### ● 経緯・背景

2005年に数名の看護師と共に、訪問看護ステーションを開業。当初、訪問の依頼は来るものの看護師の人材不足により、せつかくの依頼を断らざるを得ない状況でした。どうすれば看護師に集まってもらえるかを考え、「子育て中の看護師は復帰せず、家にいるのではないかと」気づき、仕組み作りを取り組んだところ、働きたいという人が集まるようになりました。そうした人材の能力を最大限に生かすことが質の向上、稼働率増加に繋がると考え、様々な生活状況を持つ従業員の働きやすさを考えた会社づくりを推進。多くの女性が正社員・準社員として能力を発揮している現在の状況ができてきました。

### ● 具体的な取組や成果

ワークライフバランスを取りながら、キャリアアップできる独自の制度を多数導入  
働きやすさを優先した結果、業績アップ

【具体的な取組】

#### ● ワークライフバランス

・育児制度…特別検診等休暇、配偶者検診休暇、パパ産休、産休は出産予定日の10週間前から取得可能、育休は子が満3歳まで、事情に応じ子供1人につき2回まで取得可能、ならし勤務制度、無料託児室、短時間正社員、準社員、特別看護休暇、参観休暇あり。

・介護制度…介護休業は通算180日まで取得可能、特別介護休暇、介護すぐ取って休暇、定期受診付き添い休暇、介護楽しんで休暇などの休暇や、短時間正社員制度あり。

・生活をより充実させるための制度…年次有給休暇取得促進、家庭環境に合わせ勤務形態・時間が選べる、生活調査を年1回実施、定年は満70歳、事業所交流会の費用補助あり、弊社施設や岩盤浴・各種運動器具等の利用が可能。

●キャリアアップ…社内勉強会（事業所・職種別・社長勉強会）の実施、プリセプター制度、研修参加費用支援、外部講師講演会、キャリアアップ研修会開催、指定資格取得支援や資格取得時の祝金支給、資格手当の給与上乗せあり。社長面談・管理者面談を実施し自己評価シートを活用。永年勤続表彰、ベスト気づき賞、ヒヤリハット最多賞、健康優良者を表彰。

●効率化のための取組…iPhone等を従業員に貸与し、情報共有の仕組み作りに取り組んでいる。独自開発したシステム等を活用し、迅速な連携と記録業務を実施。オリジナルの手帳を従業員へ無料配布し、予定管理に活用中。

●ダイバーシティの推進…個性を大切にし、それぞれの特性や状況に合わせて能力を発揮してもらうことを第一に、軽度知的障害を持つ従業員にお茶の淹れ方から助言をし、綿密に思いを聞きながら勉強を指導。その結果、ヘルパー資格取得を実現。四肢障害のある従業員は、通勤手段や通勤路を一緒に考え、自立した通勤を提案。若年者トライアル雇用枠で2名を採用し、うち1名の資格取得に向け勉強を指導した実績あり。従業員の前歴を尊重し、プログラミング経験のある従業員に対してシステム部署への配置も行った。

【成果】

家庭と仕事の両立に対する意識が向上し、有給取得率75%（2020年度）、育休取得率は現在まで、男女共に100%を達成。男性従業員の育児に対する意識も前向きに変化し、それぞれが休み、お互いをフォローし合う「お互い様風土」が醸成された。

働きやすさを整備したため、人が多く集まる企業となり、採用に関する問い合わせも増加。業績が向上し、設立時は訪問看護ステーション1カ所のみだったのが、2021年10月現在、訪問看護ステーション2カ所、デイサービス5カ所、ケアプランセンター1カ所、ジム1カ所に業務を拡大。サービスの質が向上し、2020年満足度調査では、各質問項目における最高点は9割以上を獲得。

#### 当社にとってのSDGsビジョン

十人十色の生活・労働環境を  
尊重しながら整えていくこと

働く人、その家族や関わるすべての人の当たり前な環境を整えること。100人いれば100通り、生活を大切に思う人が大切にできるよう、自分の得意な才能を活かせる環境をつくること。人それぞれのライフスタイルを尊重し、これからも働く人に合わせて、誰もが活躍できる環境を整えていきます。

#### 今後の展望と求めるパートナー像

自分の才能を最大限に活かす  
笑顔で過ごせる場所づくり

必要な人に必要なサービスを必要な時に届けられるよう、確かな技術と幅広い知識を持つ人材を日頃から育てていきます。働く人に合わせた雇用環境を柔軟に変化させながら、毎日楽しく笑顔で過ごせる場所をつくっていきます。自分の才能を最大限に活かして、チームで最高のパフォーマンスを出していきます。





## 株式会社サイテックス

太田市



代表者：齋藤修一  
設立年月日：1990年2月28日  
資本金：4,000万円  
従業員数：111人

住所：太田市吉沢町608-2  
TEL：0276-37-2815  
Mail：info@sytecs.com  
URL：https://sytecs.com



WEB サイト

### ● 事業者紹介

1990年創業のものづくり企業で、主にプラスチック製品の開発、製造、販売を行っています。最新の設備を駆使し、あらゆるニーズにお応えするとともに、製品の検品システム、納期の確実性を期すための輸送システムなどを確立、着実な実績を上げています。グループ会社には、金型の設計・製作において60年以上の実績と高い技術力を誇る(株)FASTと、半導体の生産に不可欠な部品やICトレイを中心に扱うシノン電気産業(株)があり、日本のみならず、世界のものづくりを支えています。近年では浄水器事業に力を入れており、浄水器 SESERA の開発・製造・販売も行っています。

### ● 経緯・背景

長年培ったプラスチックの技術をもとに、“人々の健康に役立ち、世の中の課題を解決する製品をつくりたい”という思いから、浄水器 SESERA の開発をスタートしました。水道水がミネラルウォーターのようにおいしく、健康的な水になれば、ペットボトルを買う必要がなくなり、輸送時に発生するCO2も、プラスチックごみの削減も可能となります。また、近年の災害の多発、激甚化を受け、停電、断水時にも使える浄水器にできないかと、10年以上の歳月を重ね研究し、様々な実験検証の結果、これ以上はないと自信を持つ「SESERA SYKM5S」を開発し、2021年から全国で販売を開始しています。

### ● 具体的な取組や成果

#### 家庭用浄水器で有事の際には雨水や河川水から飲料水を確保 浄水器「SESERA」のさらなる普及と拡販で環境問題を解決します

本来プラスチック製品は汎用性、加工性、断熱性にすぐれるなど、素晴らしいものでありながら、海洋プラスチックごみや、生産時の電力消費が大きいなどの課題もありました。サイテックスグループでは、自社工場に太陽光発電システムを250kW搭載しています。さらに2022年には200kWの太陽光発電システムの追加稼働を予定しており、生産時の環境負荷軽減に取り組んでいます。

浄水器 SESERA の製造においては、再生プラスチックを製品の一部に使用しています。SESERA は、水道に取り付ける直結型の浄水器のため、水筒に入れて持ち歩けば、ペッ

トボトルなどの海洋プラスチックごみ削減に貢献できる商品です。CO2削減、プラスチックごみの削減に取り組むことは、気候変動により頻発、激甚化が懸念される災害の対策として、とても重要なことであり、浄水器として普段使いでき、しまい込まずに使用できるコストパフォーマンスにすぐれた災害対策品です。

普段はおいしく健康的な水を手軽に使い、断水、停電時には河川水や雨水から命を繋ぐ飲料水を確保できる災害対策製品として、企業、自治体、一般家庭と、多くの人に愛用されています。



普段は高性能浄水器として使用 断水時には付属の足踏ポンプに接続し、雨水や河川水から飲料水を確保できる



サイテックスグループ シノン太田工場の上空写真 この工場を含め約230kWの太陽光発電システムが稼働している

#### 当社にとってのSDGsビジョン

##### 循環型のものづくりで つくる側の責任を果たす

環境に配慮した責任あるものづくりを行います。CO2排出削減や再生プラスチックの採用など、できることを一つずつ実行し、浄水器 SESERA の普及を進め、健康と安心を提供します。ものづくりを行う企業として、水とプラスチックの社会問題の解決に、今後も取り組んでいきます。

#### 今後の展望と求めるパートナー像

##### 浄水器“SESERA”を通じて 環境問題を一緒に解決

防災関連品を取り扱う企業、水道工事の可能な企業など、浄水器 SESERA の販売代理店を広く募集しています。積極的な設備投資を行い、より一層環境に配慮した生産を行います。また、2022年は海外での販売もスタートさせ、浄水器 SESERA の普及に注力していきます。





## 株式会社セレスポ 群馬支店

前橋市



代表者：稲葉利彦 住所：前橋市亀里町 1073-36  
 設立年月日：1977年7月21日 TEL：027-265-4211  
 資本金：13億7,067万円 Mail：mocchy@cerespo.co.jp  
 従業員数：426人 URL：https://www.cerespo.co.jp



WEB サイト

### ● 事業者紹介

あらゆるテーマや規模のイベントにおける企画・設計・会場設営・運営・進行を、全国ネットワークを活用して、ワンストップでサポートしているイベント制作会社です。イベントの企画段階から、当日の運営まで一貫して行うため、お客様の負担を減らし、高いクオリティでサービスを提供しています。セレスポの目指す姿、それは「イベント・ソリューション・パートナー」です。お客様に寄り添い、課題を共有し、解決に向けて全力で取り組みます。人の心に動きかけ、人の心に響き、人の心が動く。そんなイベントを多く仕掛けていく、手掛けていくことを目指しています。

### ● 経緯・背景

サステナビリティへの取組をより確実に発展させるため、2016年にイベント制作会社として、日本で初めて「ISO20121」を認証取得。「ISO20121」は、イベント産業における環境面や社会面、経済面への影響を配慮したマネジメントシステムを実証し、大規模な国際イベントから地域のイベントまで、主催者・制作会社をはじめイベントに関わるすべてのステークホルダーが活用できる規格です。イベントに関するサステナビリティの分野においてリーダーシップを発揮しつつ、イベント総合制作会社として、イベントを通じた社会貢献と環境価値の創出に取り組んでいきます。

### ● 具体的な取組や成果

## 経済面、社会面、環境面の幅広い領域にわたり、持続可能なイベントマネジメントのあり方を提起し、企業の社会的責任を改善します

ISO20121 認証取得を機に、社員教育や持続可能な組織づくりに加え、業務の中核をなすイベント制作においてもサステナビリティへの取組を実践しています。イベント毎に異なるテーマ・目的・課題と共に、社会的課題を統合的に捉え、ステークホルダーとのパートナーシップを築きながら、イベントを通じた SDGs への貢献に取り組んでいます。

また、障害の有無や年齢、性別などに関係なく、誰もが安心して参加し、一緒に楽しめることを目的に、バリアフリーやユニバーサルデザインの考えを取り入れたパラスポーツ体験会や車いすセミナーなどのユニバーサルイベントにも積極的に取り組んでいます。



サステナビリティへの取組と実践



パラスポーツ体験会や車いすセミナーなど、ユニバーサルイベントも積極的に開催

### 当社にとっての SDGs ビジョン

## イベント業界においても SDGs への取組は必須

企業活動やイベント開催に伴う社会的・環境的・経済的にネガティブな影響を最小化し、ポジティブな影響を拡大することで、イベントを通じたコミュニケーションや場づくり、発信力を生かした社会貢献と環境価値を創出します。これらはイベントレガシーの創出や SDGs への貢献においても重要と考えます。

### 今後の展望と求めるパートナー像

## サステナブルなイベントに 共に取り組む仲間づくり

一過性に終わりがちなイベントをレガシーとして後世に繋げ、サステナブルなイベントづくりを目指すうえで、イベントを通じた SDGs への貢献に共に取り組める企業、個人、団体等をパートナーと考えます。





## 株式会社拓殖商会

伊勢崎市



代表者：塩谷剛史  
設立年月日：1974年7月2日  
資本金：1,000万円  
従業員数：24人

住所：伊勢崎市境伊与久 3097-1  
TEL：0270-76-3683  
Mail：k307@ngp.gr.jp  
URL：https://www.takushoku-shokai.co.jp



WEB サイト

### ● 事業者紹介

伊勢崎市で自動車解体業を営み、素材の再利用と自動車リサイクルパーツを生産・販売。社員が「明るく楽しく」働くことをテーマに取り組んでいます。また一般の人々向けの窓口として、全国ネットの廃車王伊勢崎店の運営を行い、使用済み自動車を入庫させ、限られた資源の循環型社会の形成に尽力しています。



### ● 経緯・背景

1971年、自動車業界が発展する最中、創業。いち早く「資源の枯渇」が社会問題になると考え、素材の再利用を検討。1997年からは経済産業省認可のNGPグループ（日本自動車リサイクル事業協同組合）に加盟し、使えるものは再利用する「自動車リサイクルパーツ」に着目。数多くの部品を生産・販売することで、CO2の削減と省エネに貢献。「もっとリサイクルパーツを使ってほしい」「もっと環境ビジネスを知ってほしい」という意識からSDGsに取り組み、創業当初からの「限られた資源を大切に」という考え方をさらに強化し、STOP 温暖化や再資源化の実施により、社会課題の解決に貢献しています。

### ● 具体的な取組や成果

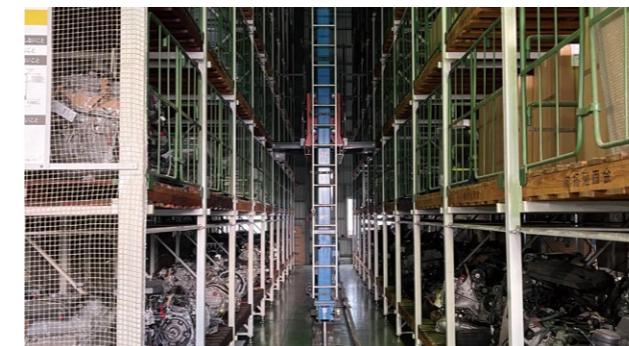
#### 使用済み自動車を仕入れ、自動車のリサイクルパーツを生産・販売 地元の人々にも窓口を広げ、近隣地域にも貢献する循環型社会を形成します

##### 【具体的な取組】

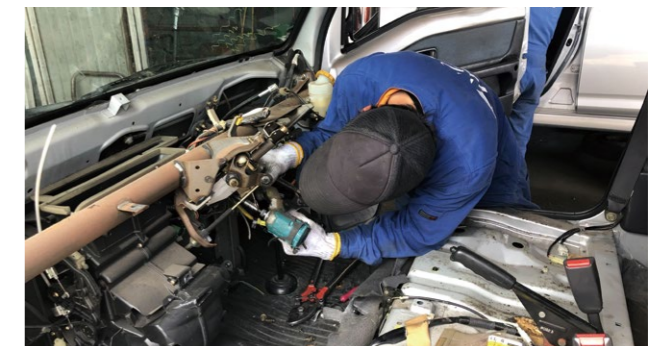
- 使用済み自動車の仕入れ  
県内を中心にディーラーや保険会社から使用済み自動車の仕入れを行い、資源の循環を図るとともに放置車輛や災害時の車輛の引き上げ運搬を支援。地域密着型の窓口として廃車王を運営し、環境ビジネスの周知をしています。
- 自動車リサイクルパーツの生産・販売  
全国ネットの共通在庫を生かし、全国にリサイクルパーツを提供。安心・安価な商品を展開しています。
- 地域や行政との連携強化  
近隣や行政とパートナーシップを形成し、清掃活動や訓練の車輛貸出など地域問題や環境問題に貢献しています。

##### 【成果】

- 地域密着型の窓口として運営している廃車王を通し、近隣の方からの相談が増加。地域の人にも貢献できるようになりました。
- 年間9,000点前後のリサイクルパーツを販売し、約50万kgのCO2を削減しました。
- 伊与久沼周辺の清掃活動において、伊勢崎市とアダプトプログラムを締結しました。
- 地域活性化とリサイクルの周知活動として、群馬クレインサンダーズを支援しています。
- SDGsの勉強を定期的に行うことで従業員の意識が変わり、ごみの分別等、職場の改善活動が活性化しました。



自動車リサイクルパーツを常時約6,000点保管し、全国からの受注に対応している自動倉庫



機材だけに頼らず、手作業で取り外しを行い、精緻な解体で細かく精度の高い素材分別を進めます

#### 当社にとってのSDGsビジョン

#### サステナビリティの充実で 3Rから5Rの時代へ

創業からの50年は、3Rに取り組んできましたが、これからの50年は、リフューズとリペアを加えた5Rにも積極的に取り組んでいきます。「守るCSR」と「伸ばすCSR」の両面から考え、電気自動車をはじめとする次世代自動車の対応にも取り組み、持続可能な住みよい環境を提供することを目指します。

#### 今後の展望と求めるパートナー像

#### 次世代自動車のリサイクルで 新しい循環サイクルを構築

今までのガソリン車とは構造や部品も違う次世代自動車のリサイクルについて、開発サイドや販売サイドと一緒に考え、新しい循環サイクルを構築。自動車関連会社との提携を強化し、リサイクルパーツを周知して認知度を向上させ、省エネルギーを推進します。





サステナビリティ経営を推進し

「脱炭素社会」と「安心・安全な社会」の実現に貢献します

## 株式会社チノー

藤岡市

代表者：豊田三喜男  
設立年月日：1936年8月1日  
資本金：42億9,200万円  
従業員数：689人

住所：藤岡市森1  
TEL：0274-42-2111  
URL：https://www.chino.co.jp



WEBサイト

### ● 事業者紹介

1936年の設立以来、「温度のチノー」として高い技術力を誇り、計測・制御・監視の技術により、様々な産業分野（電子産業、先端素材、農業、食品、医薬等）において、品質向上、生産の効率化、安全・安心、地球温暖化防止等の最適なソリューションを提供し、持続可能な社会の実現に貢献しています。



### ● 経緯・背景

SDGsが掲げる持続可能な未来に向けた課題解決に、当社の計測技術が貢献できると考えています。脱炭素社会の実現には、太陽光等の自然エネルギーと共に、水素エネルギーの活用が期待されています。水素社会実現のためのインフラ整備は、世界的にも急務の課題であり、水素を「作る・運ぶ・貯める・使う」というサプライチェーンの中で、様々な研究開発が進んでいます。当社の精度の高い計測技術がその事業化を支援します。

また、正確性とトレーサビリティが求められる医薬品の管理においては、温度計測・監視を通じて、安全・安心な医薬品の提供に貢献していきます。

### ● 具体的な取組や成果

#### 脱炭素社会の実現に向けて、水素関連技術の研究開発を支援 医療・医薬分野では厳格な温度・湿度管理を実現します

##### ● 脱炭素社会の実現に向けて

水素関連技術の研究開発を支援する「燃料電池評価装置」「水電解評価装置」で水素利用技術と水素製造技術の発展を計測や制御技術の面で支え、燃料電池基盤技術の研究を進める技術研究組合 FC-Cubic にも参加しています。「燃料電池評価装置」は燃料電池車やエネファームの研究開発を支え、早期商品化と性能向上に寄与し、燃料電池の普及に繋がっています。「水電解評価装置」はグリーンエネルギー政策下で研究が進む水素製造手法のうち、水の電気分解を応用した手法の水素製造効率の適正評価に寄与しています。また地球温暖化の一因である、フロン温室効果を低減する代替冷媒を用いたエアコンの性能評価を行う「カロリ-

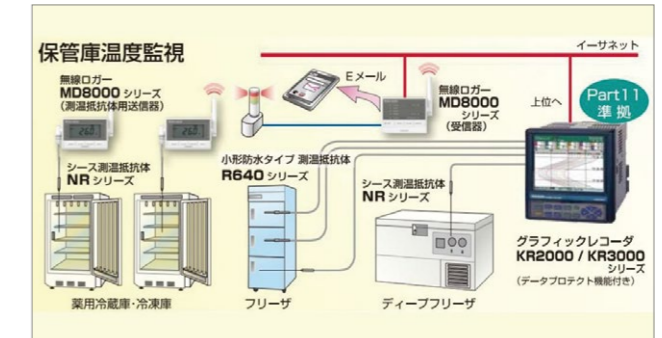
メータ（冷凍評価装置）」に改良を重ね、冷凍空調産業の開発を支援しています。地球温暖化係数の低減と効率向上によるさらなる省エネに向けて、代替冷媒の開発は継続されており、「カロリメータ」はエアコンをはじめとする空調機器の性能評価に欠かせない設備となっています。

##### ● 安全安心な医薬品の提供に貢献

医療・医薬分野における温度・湿度管理面において、当社のセンシング技術と無線技術を活用した集中監視システムと温度管理サービスを提供。医薬品保管、医薬品物流および医療用検体保管において、厳格な温度・湿度管理を実現でき、医療・医薬分野での安全と安心の向上に寄与しています。



水電解評価装置で水素社会の実現へ貢献



卓越した温度管理技術で、医薬品の安全・安心を支えています

#### 当社にとっての SDGs ビジョン

#### 技術の限界に挑戦することで サステナビリティ経営を深化

SDGsへの貢献を、具体的な ESG 課題への対応を通じて推進していきます。SDGsの17目標は、いずれも当社の事業と繋がりがあるという認識のもと、事業を通じてSDGsに貢献することが、サステナビリティ経営を深化させることにほかならないと考え、「計測・制御・監視」技術の限界に挑戦します。

#### 今後の展望と求めるパートナー像

#### 技術力で新たな価値を届け 企業も成長する好循環を

チノーグループのモットーである「現場に密着した」事業を通じて、お客様に「新たな価値」を届けます。あらゆるステークホルダーの人々によるこんでもらえるよう、SDGsの目標達成に貢献し、その結果として当社も持続可能な成長を遂げていく。そういう好循環を生み出せる企業グループであり続けたいです。





ふるさと群馬の風景を修復し  
“想い”と共に次世代に繋いでいく

## 株式会社TSUNAGU

前橋市



代表者：浜名豊  
設立年月日：2020年11月2日  
資本金：100万円  
従業員数：4人

住所：前橋市三河町2-2-13 青木ビル2階  
TEL：027-289-6288  
Mail：info@tsunagu-gunma.co.jp  
URL：https://tsunagu-gunma.co.jp



WEBサイト

### ● 事業者紹介

「風景を修復する」をコンセプトに、2020年11月に創業。不動産売買・賃貸、持ち家・空き地・お墓の見守り管理、古材と古道具の回収・販売等を行っています。古くなった住宅や手の回らない田畑、思い出が詰まった古材・古道具の魅力を汲み、次世代に繋ぐことで“もの”だけでなく“想い”も循環する社会を目指しています。

株式会社TSUNAGU

### ● 経緯・背景

4軒あったら1軒が空き家。それが10年以内に日本の現実になるといわれています。農地などの空き地も深刻です。もともとどんなに美しい風景であっても、人の目と手が行き届かなくなると忘れられ、朽ちてしまう。風景とは「人のにぎわい」「動植物などの自然」「そこにあった記憶」です。私たちは、ふるさと群馬の風景を修復し、次世代に繋ぎたいと思っています。その方法は、一つに限らない。その想いを込めて、社名には「不動産」等の言葉を使いませんでした。大切なのは、空き家に人が住み始めたり、耕作放棄地が耕されるなど、人も環境も豊かになるように資源が循環されることだと考えています。

### ● 具体的な取組や成果

#### 中古物件や古材・古道具等を循環させるための3つの取組で「売れない中古」のイメージを払拭し、地球環境の負荷を軽減します

##### 【具体的な取組】

循環社会の形成のために不動産の「賃貸・売買」はもちろん、他に3つの取組を行っています。

##### ● 持ち家見守り管理サービス

遠くに住んでいて、なかなか実家や持ち土地の様子を見に来られない方の代わりに毎月管理します。

##### ● 古材や古道具のレスキュー

思い出の詰まった家屋の床・壁材や家具・食器類などを、捨てられてしまう前にレスキューして、想いごと次の方へ繋ぎます。

##### ● ローン組みやリフォームの支援

新しく中古物件の活用をされる方のために単なる仲介役ではなく、想いを繋ぐ存在でありたいと思っています。



持ち家や田畑がきれいに安全に保たれるように管理します。対象は県内全域です。看板も古材から作ります

##### 【成果】

日本の不動産流通は新築が約88%を占めるといわれる中で、当社が取り引きしている物件はすべて中古物件です。中古ならではの長所と短所を説明し、納得いただけるよう努めています。

また、古材古道具の回収依頼は、開始から約半年間で50件以上の家屋から計2t以上の資材や家具類をレスキューすることができました。

家屋そのものや、生活に趣と余韻をくれる家具類に対して「売れる新品、売れない中古」のイメージが払拭できれば、今ある資源が循環して地球環境負荷の軽減に繋がるのではないかと考えています。



建材や床板等の古材から食器やタンス等の古道具まで、思い出の詰まったものを回収（レスキュー）します

#### 当社にとってのSDGsビジョン

#### 美しい故郷の風景を守るため 一人や一軒の想いを大切に

空き家が増える。田畑が草だらけになる。商店街が衰退する。森や山が荒れる。若者が居づらくなる。これらは単なる社会問題というだけではなく、人々の心に関わることだと思っています。目の前にいる一人や一軒の想いをもっと大切に、中古物件や古材・古道具等を循環させていくことで、故郷ぐんまの風景を修復したいと思っています。

#### 今後の展望と求めるパートナー像

#### 中古物件や古材・古道具等の 循環に関わるすべての人に

身近に「もったいないな、活用できないかな」と感じているものがある方との連携をしていきたいです。物事と、そこにこもっている想いを繋いで循環していく中で、まだまだ活かせるものがたくさんあると考えています。





東京海上日動火災保険株式会社 群馬支店

前橋市

3 すべての人に 健康と福祉を 8 働きがいも 経済成長も 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう 11 住み続けられる まちづくりを 17 パートナシップで 目標を達成しよう

代表者：三原二郎（群馬支店長） 住所：前橋市本町 2-13-11 前橋センタービル  
 設立年月日：1879年8月1日 TEL：027-235-7714  
 資本金：1,019億9,469万4,000円 URL：https://www.tokiomarine-nichido.co.jp  
 従業員数：17,176人



WEB サイト

● 事業者紹介

日本で最初の保険会社として1879年に創業。1944年群馬県に拠点を開設。「安心と安全をお届けし、お客様や地域社会の”いざ”をお守りする」ことをパーパス（存在意義）とし、社会課題の解決に貢献する保険・サービスを提供しています。2021年度からの中長期経営計画でも、持続可能な社会への取組を柱に位置付けています。



● 経緯・背景

生産年齢人口が減少する中、企業の持続的な成長には、従業員の健康管理や働きやすい職場づくりが大きな課題となっています。また、近年の自然災害の激甚化や感染症の拡大により、企業の事業継続対策は喫緊の経営課題となっています。こうした環境を踏まえ、地方創生やSDGsの取組を、経営理念である「安心と安全」の提供を通じて豊かで快適な社会生活と経済の発展に貢献すること」そのものと位置付け、取組を行っています。群馬県をはじめとする自治体や団体と各種連携協定を締結し、県内企業の持続的な成長やサステナブルな社会の実現に貢献すべく、取組を進めています。

● 具体的な取組や成果

企業の健康経営の普及や県内企業の事業継続力強化計画を支援 BCPの策定支援にも取り組み、災害に強い群馬を目指します

● 健康経営支援

「生き生き健康事業所宣言」事業の普及推進の連携事業者として、また、本事業と相互認定関係にある「まえばしエルネス企業」を支援する「まえばしエルネス応援企業」として企業の健康経営普及に取り組み、「健康経営優良法人」の認定を支援しています（※1）。

（※1）県内データ／「生き生き健康事業所宣言」宣言数：895事業所（2021年7月31日現在）、「まえばしエルネス企業」登録数：272事業所（2021年8月31日現在）、「健康経営優良法人2021」の大規模法人部門に県内から5法人（うちホワイト1法人）、中小規模法人部門に116法人（うちプライト7法人）が認定。

● BCP（事業継続計画）・事業継続力強化計画策定支援

「県内中小企業のBCP策定支援に関する協定」に基づき、「災害に強い群馬」を目指し、BCP策定支援に取り組んでいます（※2）。また、商工会議所や商工会が策定した「事業継続力強化支援計画」を踏まえ、県内企業の「事業継続力強化計画」の認定支援にも取り組んでいます（※3）。

（※2）当社がBCP策定の個別支援に携わった企業数：115社（2022年1月31日現在）。その他、ワークショップには多数の企業が参加。

（※3）県内データ／「事業継続力強化計画」認定企業数：803社（2021年12月31日現在）。



群馬県との地域活性化包括連携協定



地方創生ブックレットと群馬県SDGs推進企業応援パッケージ

当社にとってのSDGsビジョン

県内企業の持続的な成長とサステナブルな社会を実現

群馬県が推進しているSDGsの関連施策は、当社が目指す取組と極めて親和性が高いため、群馬県内のSDGsを推進する企業を応援し、支援するパッケージを用意しました。SDGsの取組支援をはじめ、健康経営やBCPの支援も行い、県内企業の持続的な成長とサステナブルな社会の実現に貢献していきます。

今後の展望と求めるパートナー像

先進性のある企業と協業し地域社会を支える存在に

社会課題の解決に貢献することを目指し、新たに「サイバー」「グリーントランスフォーメーション(GX)」を重要な社会課題領域と位置付け、強化していきます。専門性や先進性のある企業等との協業で、お客様や地域社会を「いつも」支えることができる存在へと進化できるよう、これからも挑戦し続けます。





## 株式会社長井精機

高崎市



代表者：長井宏幸 住所：高崎市上豊岡町 561-23  
 設立年月日：1955年12月1日 TEL：027-343-5881  
 資本金：5,000万円 URL：https://www.nagaiseiki.co.jp  
 従業員数：31人



WEB サイト

### ● 事業者紹介

豊かで快適な暮らしのライフラインとして、さらには経済発展のための礎として、世界中で必要とされているのが電力です。私たち長井精機は、そうした大切な電力を生み出す発電設備の重要部品であるタービンブレードの製造を手掛けている専門メーカーです。より発電効率の高い発電設備の実現に向けテクノロジーが進歩する中、それに応える高品質・高精度のタービンブレードをお客様に供給することで、世界を明るく幸せにしていく技術者集団でありたいと考えています。

### ● 経緯・背景

先代の時より「亡己利他」を大切に、自分以外の人のために何が出来るかを考えて行動してきました。社員一人ひとりがSDGsについて考えて行動した結果をホームページで発信していくことで、社員のモチベーション向上に繋がると考えています。



### ● 具体的な取組や成果

社員はもちろん、その家族の安全と健康を第一に考えた取組により社員の意識を変え、コミュニケーション力のアップと生産性向上に繋がっています

#### 【具体的な取組】

- 健康器具の設置  
社員が休憩中などに健康な体づくりができるよう、トレーニングルームを設置。
- 産休・育休が取りやすい環境づくり  
女性はもちろん、男性の育休取得を推進。
- 大型換気設備の導入  
働きやすい環境づくりのため、換気や夏場の熱がこもらないような大型換気設備を導入。
- 刃物のリサイクル  
最後まで使うことを意識し、すぐに廃棄するのではなく、使えなくなるまで研磨し、再利用。
- VPP(バーチャル・パワー・プラント=仮想発電所)の導入  
国の目指す、電気をより上手に使う社会に向け、非常時は「防災用電源」として使用することで地域の防災性の向上に貢献。

#### 【成果】

- 健康器具の設置をしたことで、休憩時間を利用して体を鍛え、汗を流すだけでなく、コミュニケーションの場としても利用されています。
- 上司が率先して育休を取得することにより、周りの人々が育休を取得しやすい環境が作りられ、普段から助け合う風土や、男女問わず、子供の看病でも休暇を取りやすい環境になっています。これまで男性従業員20名中6名が育休を取得しました。
- コロナの流行で換気が重視される中、大型換気設備の導入により広い工場内のしっかりと換気が可能に。また温暖化の影響で夏の暑さが厳しくなる中、冷風機との併用により、熱中症対策としても活躍しています。
- 通常、小径工具は使い捨て、大径工具は数回の研磨で廃棄するが、自分たちの研磨技術を生かし、小径工具も大径工具も使えなくなるまで研磨を繰り返し使用。従業員にものを大事に使う意識が芽生えました。
- VPPを導入し、脱炭素化を実現するために使用されるタービンブレードを製造する際のエネルギー源を再生可能エネルギーに変えることで、CO2排出量をさらに削減し、気候変動抑制を実現。また、電気自動車を使用することで、より貢献しています。



工場に導入した大型換気設備

#### 当社にとってのSDGsビジョン

#### サステナブルな生活を 当たり前の日常に

SDGsとは特別なもの、頑張るものではなく、日常生活の中にあるものだと考えます。社内で健康な体づくりがしたい、子育ては男女関係なくしたい、エネルギーについて考える、生産・消費について考えるなど、サステナブルな世界が当たり前になるよう、今後も働きやすい環境を整えていきます。

#### 今後の展望と求めるパートナー像

#### 誰にとっても働きやすい環境が 高品質・高精度の製品を生む

大切な電力を生み出す発電設備の専門メーカーとして、テクノロジーの進歩に合わせてCO2排出量の削減や気候変動の抑制を考慮し、対応し続ける技術者集団であるために、従業員の働きやすさを重視し、世界を明るく幸せにしていく高品質・高精度の製品を提供していきます。





頻発する豪雨災害の被害拡大を防止する  
正確な水底形状を計測する 3次元測量を実現します

## プロファ設計株式会社

伊勢崎市

代表者：杉山 崇  
設立年月日：1970年7月4日  
資本金：1,000万円  
従業員数：92人

住所：伊勢崎市下触町629-1  
TEL：0270-62-2111  
Mail：propha@propha.co.jp  
URL：https://www.propha.co.jp



WEB サイト

### ● 事業者紹介

創業の精神、初心を忘れず「融和」「誠実」「信頼」の心で、人と自然にやさしい地域づくりを目指し、社会のニーズに応えることを使命としています。測量、地質調査、建設コンサルタント、補償コンサルタントおよび環境調査と、多岐にわたる事業を営み、調査→計画→測量→設計→アセスメント→許認可→施工管理→維持管理までをワンストップでサービスできることが強みです。また新たな技術にも積極的に取り組み、国土交通省で採用されている「ドローン搭載型レーザー扫描仪」を用い、国土地理院が定めた「公共測量マニュアル」に則し、群馬県内でも数社しかできない3次元点群測量を実現します。

### ● 経緯・背景

【主な認証・認定】  
2000年 ISO9001 認証  
2006年 群馬県環境 GS 認定  
2017年 中小企業庁経営力向上計画認定  
2021年 SDGs 宣言（群馬県コーチングプログラム受講）

【主な受賞・表彰】  
2018年 国土交通省関東地方整備局長「優秀技術者（主任技術者）表彰」および「優良業務表彰」  
2020年 国土交通省関東地方整備局長「優秀技術者（主任技術者）表彰」および「優良業務表彰」

### ● 具体的な取組や成果

## ドローンの導入で測量人数を省力化。最先端レーザー扫描仪で 周辺調査や建築物の3次元測定を実施し、被災概況の把握を可能にします

#### 【具体的な取組】

- デジタル、まちづくり・コンパクトシティ、防災・減災
  - ・今まで、人によって行われていた作業にドローンを使用し、周辺調査や最先端のレーザー扫描仪を使用した既存建築物の3次元測定により省力化と効率化を実現しました。
  - ・コマツ（東証一部上場、大手建設機械メーカー）が注力している「スマートコンストラクション事業」に関し、パートナーシップ契約を締結しました。※2021年12月現在
- 環境・グリーン
  - ・測量杭（木杭・プラスチック杭）の使用量を見直しました。
  - ・調査、分析時の水や薬品の使用量を見直しました。

#### 【成果】

- デジタル、まちづくり・コンパクトシティ、防災・減災
  - ・ドローンの導入により、従来型の測量最低人数4～5名を2～3名に省力化。「被災箇所の発見および被災概況を把握し、復旧優先度・被害拡大の防止策等を検討」事項を可能にすることが考えられます。
  - ・世界のコマツに技術力が認められていることの証であり、ICTを駆使した測量や施工に関わる最新の技術動向、今後の方向性をいち早く入手することが可能となります。
- 環境・グリーン
  - ・測量杭の使用量を減らすことで、森林伐採量の減少や廃棄時に発生するCO2の削減が見込めます。



スマートコンストラクション



ドローンによる空撮測量イメージ

### 当社にとってのSDGsビジョン

## SDGs への理解を深めるため 県主催のプログラムに参加

2030年SDGs達成に向けた指標 ※すべて2021年度対比

- ① 環境負荷の30%低減
- ② DXの推進による、人的業務負荷の軽減（作業量3%削減）
- ③ 労働環境の改善

革新技術と従来型技術の融合により、これらの指標に向けて事業を継続・発展させていきます。

### 今後の展望と求めるパートナー像

## 社員一人ひとりの意識を高め 持続可能な社会を実現する

SDGsへの取組を通じ、社員一人ひとりの意識を高め事業を継続していくことが、「持続可能な社会の実現」に繋がると考えています。そのうえで求めるパートナー像は以下の通りです。

- ・暴力団等、反社会的組織と関係がないこと。
- ・SDGsへの取組をしていること。
- ・企業継続するための経営資源があること。





現在だけでなく、未来を考えた配管の開発と供給を通し  
信頼あるライフラインの構築を提案します

## 株式会社ベンカン

太田市

代表者：我妻武彦  
設立年月日：2008年6月1日  
資本金：1億円  
従業員数：121人

住所：太田市六千石町5-1  
TEL：0277-78-4119  
Mail：marketing@benkan.co.jp  
URL：https://www.benkan.co.jp



WEBサイト

### ● 事業者紹介

1947年、産業用配管機材メーカーとして、前身である日本弁管工業(株)を創業。その後、国内で水道管における衛生問題や作業不足の問題が発生。この問題を解消すべく、産業用だったステンレス配管を一般配管にも採用できる、ステンレス鋼管対応プレス式継手「モルコジョイント」を1975年より販売。この「モルコジョイント」は衛生的で、作業不足を解消できるシステムであったことから、全国の水道事業者の認可を受け、1978年、増産体制に対応するため現在の群馬県太田市に工場を移転。2011年、本社も移転し、現在も社会やお客様の声に耳を傾け、製品開発に取り組んでいます。

### ● 経緯・背景

事業の発祥が人々のライフラインへの貢献のため、社員の誰もがそれを“あたりまえ”と捉え、事業を継続してきました。2015年の国連サミットでSDGsが採択された際、自分たちの事業のあり方と重なる部分が多く、翌年の2016年に現在のミッション「現在だけでなく、未来を考えた配管の開発と供給を通し、信頼あるライフラインの構築を提案する」を定めました。

またミッションブランドとして、「SUSTAINABLE LIFELINE」を商標登録しており、このミッションは私たちの社会的な存在意義（パーパス）として、社員が誇りを持って事業に従事しています。

### ● 具体的な取組や成果

#### ステンレス配管、社会貢献推進制度、国際人材育成をはじめそれぞれの事業で持続的に貢献できる仕組みづくりで成果を発揮

##### ● ステンレス配管

主力のステンレス配管は、錆びにくいことから食品工場や浄水施設などで採用される衛生的な配管です。また耐久性にすぐれていることから、官公庁舎、病院、警察、消防などの重要施設での採用も多くなっています。さらに廃材になることが少なく、仮に廃棄となってもリサイクルされる頻度が高い素材です。

##### ● 社会貢献推進制度

会社および社員が社会貢献に参画しやすいような、社内制度の整備に努めています。例えば、社内に国際的な水支援を行うための寄付型自動販売機を設置したり、会社敷地

内にソーラーパネルを設置し、積極的に再生可能エネルギーの活用にも取り組んでいます。

##### ● 国際人材育成

地元に住んでいる外国人だけでなく、ベトナムのグループ会社からも従業員を積極的に受け入れています。その取組体制は、メディア取材や県外の自治体からの見学要望といった形で大変注目されています。また ODA 団体からの協力依頼で、タンザニア等の発展途上国の製造業に対して、オンラインで社内の 5S（整理・整頓・清潔・清掃・躰）活動を伝える交流も行っています。



ステンレス配管は、耐久性、衛生性、リサイクル性にすぐれています



群馬県太田市の MJ 工場では、多くの外国人社員が働いています

#### 当社にとっての SDGs ビジョン

##### 社会における存在意義を高め 2030年のSDGsゴールを達成

持続可能な配管（SUSTAINABLE LIFELINE）の開発と供給を通して、2030年のSDGsのゴール達成に貢献することです。そしてSDGsを通過点として、その取組がゴール以降も“あたりまえ”に継続できる企業として、社会における存在意義（パーパス）を高めていきたいです。

#### 今後の展望と求めるパートナー像

##### 持続可能な配管を中心に 様々な事業でSDGsに貢献

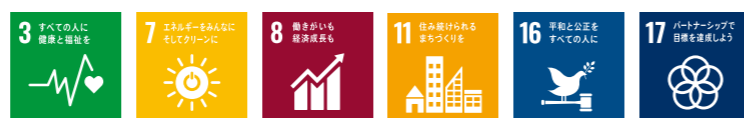
- (1) ステンレス配管をメインに、持続可能な配管（SUSTAINABLE LIFELINE）の開発と供給を推進します。
- (2) 会社としての企画、社員の参画を意識した社会貢献活動の具体化に努めます。
- (3) 外国人雇用、海外事業展開に力を入れ、国際貢献の一助となるよう事業展開します。





## 三井住友海上火災保険株式会社 群馬支店

前橋市



代表者：杉山 茂（群馬支店長） 住所：前橋市本町 2-10-4  
 設立年月日：1918年10月21日 TEL：027-223-6692  
 従業員数：106人（群馬支店） URL：https://www.ms-ins.com



WEB サイト

### ● 事業者紹介

保険・金融サービス事業の公共性を原点として、社会の不安とリスクに対して、最善の解決策を提供することを使命としています。公平・公正、倫理的で正しい行動を最優先とし、常に十分なコミュニケーションを心掛けて広く情報の提供を行い、社会の誰からも信頼される会社を目指します。



### ● 経緯・背景

保険商品の販売だけでなく、自治体・教育機関・医療機関・金融機関・各種団体と連携し、「自然災害への備え」「カーボンニュートラル」「サイバーリスク対策」等、様々なリスクを未然に防ぐことに注力しています。また、「ダイバーシティ&インクルージョン」の推進も積極的に行い、群馬のさらなる活性化を目指します。



### ● 具体的な取組や成果

#### 「お客様を守る」「事故を未然に防ぐ」ため 群馬の活性化を積極的に行い、地域課題を解決

##### ●ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）の推進

すべての社員に、仕事を通じて成長し、能力を発揮できる機会を提供。中期経営計画「Vision 2021」では、社員が活躍できる経営基盤づくりに重点を置き、経営数値目標としてダイバーシティ&インクルージョンの主要業績指標（KPI）を設定。グループの総合力として推進しています。

2022年2月16日には、当社陸上部パラアスリートの道下美里選手が、山本一太群馬県知事のYouTube配信番組に出演。対談を果たしました。

##### ●「DX Value シリーズ」の展開

デジタルトランスフォーメーション（DX）を活用した保険の新たな価値を提供する「DX Value シリーズ」を展開。保険の価値を変えるコア商品として、商品ラインアップを拡充しています。

##### ●社会課題解決へ向けた取組

2017年に群馬県と包括連携協定を締結以降、社会課題の解決に向けて様々な分野で意見を交換。2021年7月には当支店主催の「地方創生オンラインツアー」を開催し、各自治体や商工団体、金融機関等と共にSDGsの取組に関して意見交換を行い、群馬県の活性化に努めています。また、地域課題解決の具体的提案として、「消防団への自動車保険加入」「社会インフラのAI点検」「被災者生活支援サポート（罹災証明発行）」「オートリースのEV化」を4大取組とし、各自治体へ提案しています。

また、2021年度は県や金融機関と連携し、事業者さま向けのカーボンニュートラル対策セミナーを実施しました。



「DX Value シリーズ」コンセプト



「DX Value シリーズ」ラインアップ

#### 当社にとってのSDGsビジョン

#### 安心・安全を届けるために 各種サービスの提案で貢献

保険だけではない、各種サービスを通じ「事故のない」または「事故の被害を最小限に抑える」ことに注力し、安心・安全を届けられる企業となるよう、日々活動しています。

#### 今後の展望と求めるパートナー像

#### 産・官・学・民の連携を軸に DXValue シリーズを提案

DXValue シリーズの提案活動をさらに強化し、今まで以上に自治体、商工団体、金融機関、学校等、群馬県の掲げる「産・官・学・民」の連携を軸に、群馬県を活性化させる一助となるよう活動します。